

生前の功績が称えられる

●故久留嶋清吉氏叙勲伝達式



▲長谷部勝・北秋田地域振興局長から叙勲の伝達を受ける長男の久留嶋清人さん

元鷹巣町議会議員で、平成24年10月に逝去された久留嶋清吉氏（享年83歳・吉野）がこのほど旭日単光章を受章し、12月17日、市役所で叙勲伝達式が行われました。

久留嶋氏は、昭和46年から平成4年まで6期21年にわたって鷹巣町議会議員を務められ、地方自治の発展に尽力されました。特に建設水道常任委員長や議会運営委員長として、議会の適正かつ円滑な運営に努め、町の発展に多大な貢献をされました。

伝達式には長男の清人さん（59歳）と長男の妻の範子さん（60歳）が出席。清人さんは「父はとにかく弱い者の味方というのが政治信条でした。功績が認められうれしいです」と話していました。

優良団体表彰を受賞

●北秋田市スポーツ推進委員会



▲受賞を報告する（右から）松橋厚生さん、工藤清一副委員長、宮腰茂委員長

第53回全国スポーツ推進委員研究協議会会長大会において優良団体表彰を受賞した北秋田市スポーツ推進委員会（宮腰茂委員長、会員44人）の代表らが12月25日市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

同委員会は、サマースポーツ教室や家庭人バレーボール大会、夫婦バレーボール大会、ながなわとび大会、なわとび選手権大会の開催のほか、ニュースポーツの普及、総合型スポーツクラブの育成など積極的に取り組み、北秋田市のスポーツ振興に貢献したことが高く評価されました。

また、同推進委員の松橋厚生さん（54歳・三木田）が30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞しました。

市民から愛される歌を

●第1回北秋田市民歌制定委員会



▲歌詞の選定方法などについて意見を交わす制定委員の皆さん

第1回北秋田市民歌制定委員会（亀谷健樹委員長）が12月26日、市役所で開かれ、歌詞の選定方法などについて意見を交わしました。

同委員会は合併以来、望まれていた北秋田市民歌を制定するために設置されたものです。委員会の開催にあたり、津谷市長は5人の委員に委嘱状を交付し「市民歌は市民の方々が一体感を持つという気持ちを醸成するためにも必要なものです。市民に愛され、子どもから大人まで喜んで歌ってもらえるような市民歌を完成させるため、ご協力をお願いします」などあいさつしました。

今後、平成25年度中に市民歌を決定、26年度のお披露目を目指して作業が進められます。

ローカル線の在り方を探る

●内陸線と地域のかかわりを考えるフォーラム



▲講演で、これまでの取り組みなどを紹介する、いすみ鉄道の鳥塚亮社長

「秋田内陸線と地域のかかわりを考えるフォーラム」が1月10日、阿仁ふるさと文化センターで開かれ、市内外から参加した130人が講演やディスカッションを通して内陸線の在り方を探りました。

フォーラムは、秋田内陸線エリアネットワーク、秋田内陸線の存続を考える会などで組織する実行委員会の主催。

基調講演では、公募で社長に就任している、いすみ鉄道の鳥塚亮氏と山形鉄道（株）の野村浩志氏が、ローカル線にける思いやこれまでの取り組みなどを紹介。「内陸線と沿線地域の『いままで』と『これから』」をテーマにしたディスカッションでは、存続や乗車運動を行っている団体の代表らがパネラーを務め、活発な意見交換が行われました。

木の温もりを感じる交流施設が完成

●小森自治会館竣工式



▲完成した小森自治会館の集会所で行われた竣工式

市が建築工事を進めていた小森自治会館の竣工式が12月26日、同自治会館で行われました。

同会館は、昭和36年に建築した旧会館が老朽化したため解体。跡地に平成24年9月5日から自治会館の新築工事に着手し、同12月14日に完成しました。

構造は木造平屋建てで、延べ床面積22・26㎡、内外装とも木をふんだんに使った温もりのあるバリアフリー仕様になっており、105・99㎡（64畳相当）の集会所をはじめ、研修室、調理室のほか、憩いの場として活用できるテラスが配置されています。

竣工式には、周辺自治会や地元自治会関係者など約30人が出席し、交流施設の完成を喜び合いました。

事例を教育活動に役立てよう

●北秋田市教育センター所員発表会



▲教育実践例などの発表を聴いて研さんを深めた所員発表会

平成24年度北秋田市教育センター（所長・三澤仁教育長）所員発表会が1月8日、市文化会館で開かれ、一堂に会した北秋田市と上小阿仁村の小中学校の教員が、教育実践例などの発表を聴きながら効果的な指導法を学びました。

教育センターは、教育に関する調査研究や教員の研修により教育振興を図ることを目的とした組織。所員発表会は、各校での実践事例などを発表し合い、互いの教育活動に役立てようと実施されているものです。

この日は、4校の小中学校の教員による道徳や地域の特色ある授業の実践発表が行われ、参加した教員らは資料にメモを取りながら、真剣な眼差しで発表を聴いていました。